

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3893600043
法人名	株式会社 新風会
事業所名	グループホーム早雲
所在地	愛媛県喜多郡内子町大瀬中央5652番5
自己評価作成日	平成22年10月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成22年11月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様のできる力を引き出し、お互いに協力しあって生活ができるよう援助している。元気なあいさつと素敵な笑顔が心がけ、ありがとうと声をかけ合い、利用者様を尊敬し、認め合えるように職員は日頃から一人ひとりにしっかりと対応している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

運営母体が医療機関であり、24時間体制で連携がとれる。感染病対策も利用者、職員全員が取り組み、健康面で安心した生活を送っている。職員は優しく声かけに努め、利用者は職員を信頼してのびのびと生活している。利用者には無理をしない程度に食前、食後の手伝いをしてもらい、メニューには利用者の好みを取り入れるなどしている。ホーム周辺は安全な環境なので、道路や庭を散歩している。周辺の民家もほぼ同時期に新築した団地内にあり、親しく声をかけ合い、協力関係を深めるよう努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらい				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらい				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

Ⅰ.理念に基づく運営

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

Ⅳ.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム早雲

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏 名 森本あけみ

評価完了日 平成22年10月 1日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) フロア内に早雲の理念をかかげご近所の方に気軽に訪問をして頂けるようにしたり、出会った時は笑顔であいさつするようにしている。 (外部評価) ホーム独自の理念として「挨拶、笑顔、感謝、尊敬、認めあう」を掲げ、ホーム内に掲示して職員全員が共有し、ケア向上に活かしている。利用者が地域の中でより安心して幸せな生活が送れるよう支援するためには、地域との交流・協力が大切であり、その意義づけが理念に感じ取れない。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域行事に参加している。回覧板、区費の集金等に地域の方が来て下さる。グループホーム慶雲と合同での行事に地域の方に参加してもらっている。 (外部評価) 自治会には入会していないが、地方祭にはみこしが訪れたり、地区の運動会では知人と声をかけ合い、スタッフも競技に参加したり交流を深めている。近隣の人に草引きを手伝ってもらったり、また一緒に散歩をすることもある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 大瀬中学校の生徒に福祉体験に来て頂いた。開設したばかりで地域貢献はまだです。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 行事の報告、日課、入居者さんの情報を伝え、地域住民に理解して頂けるように対応し、ご意見を頂きサービスに生かしています。	
			(外部評価) 2か月に1回家族、地域の代表者、市担当者、地域包括支援センター、民生委員、地域住民などの出席を得て開催されている。自由な雰囲気の中で、ホームからは近況報告を行い、出席者からは質問や要望が述べられている。話し合いの中で改善可能な点は、即ケアに活かすよう努めている。	議事録は詳細に記載されているが、一部の議事録に関して、出席者の立場、また発言者がどのような立場から発言しているのか記載されていない。その点に関して記載方法の工夫が求められる。会議への利用者の出席の検討を期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) ケアプランの報告、認定調査など分からない事に対しては、電話にて教えてもらっています。	
			(外部評価) 市担当者との連携、話し合いは運営推進会議で十分行っている。会議以外でも大切な事項は電話で確認を取り合い、入居退居報告、事故報告などの書類提出はその都度行い、常に情報共有に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束に対する勉強会を行い理解を深めると共に、日中は玄関の施錠はしていません。	
			(外部評価) 隣接の同系列のグループホームとの合同研修会で、身体拘束禁止法令に関する学習会を行い、職員は十分法令を理解している。昼間は施錠をせず、利用者の外出傾向を把握して安全対策を講じている。帰宅願望のある利用者とは、職員と一緒に気分が収まるまで外回りを散歩し、支援にあたっている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修会に参加したり、職員同士で話し合い言動など互いに注意し、利用者に関して情報を共有して虐待防止に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 月に一度定期的な訪問がある利用者がおられ対応しています。利用者について話合っています。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所時には書式をもって説明をし契約をかわしています。理解、納得して頂いています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご意見箱を設置していいいます。家族等が訪問されたとき、意見や要望を聞き管理者へ伝えています。 (外部評価) 利用者から衣替えなどの日常的な相談を受けることもあり、その際にはゆったりと自由に話合っている。家族の意見は来訪時に極力聴き取るよう努めている。内部、第三者機関に相談窓口を設けており、玄関に意見箱を備えている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 業務カンファレンスを行い、職員の意見を聞く機会を設けています。 (外部評価) 代表者が訪れた際、職員から運営上困っている点やケア面での気づきや意見を、ホーム長が集約して伝え、できる限り職員にフィードバックしてもらうように努めている。利用者の健康面に関しては、その場で指示をもらっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 入所後、3ヶ月間使用期間を設け、仕事に慣れて頂き、ケアプラン等少しずつ担当を持って仕事を覚えていっています。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 南予地区グループホーム連絡会の研修会に参加するよう呼びかけし、参加しています。また、資格を取るよう促しています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) グループホーム慶雲との交流を深め、毎朝申し送りを合同で行ったり、行事も合同で行えるものは一緒に計画をたて実施しています。町内のグループホーム同士で研修等も合同で行っています。	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 利用者さんが落ち着いて生活できるよう声掛けし、不安や希望に耳を傾けています。また、職員と利用者との信頼が出来るよう努めています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 契約時に家族の要望や不安を聞き説明しています。また、面会や外出のお迎え等、訪問された時情報交換を行い、信頼関係を深めるようにしています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 桃李の療養マッサージを利用されている利用者がおられます。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 一緒に調理したり、掃除したり、水まきしたりと1日の日課を共に行いすごしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時、自室にてお話してくつろいで頂いたり、行事に家族と共に参加してすごして頂いています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族の協力を得て、馴染みの美容室へ連れて行ったり、お墓参りに行かれたりされています。また、知人に面会をして頂いたり、慶雲へ行って知人とお話しできるよう支援しています。	
			(外部評価) 隣接のグループホームに出かけた際や、訪問を受けた際には、懐かしく会話を交わしており、近隣の人と出会って話し合うこともある。合同の行事がある場合は出合いを楽しみにしている。墓参りにでかける利用者もいる。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) フロアで1つのテーブルを囲むように皆さんが座って過ごして頂いています。気の合った利用者同士が座席を決めて座ったり、お互いの意見を尊重し理解しあえるよう声かけしています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 開設したばかりなので例がありません。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の希望や意見聞き、困難な場合はその人の行動などから判断させてもらっています。	
			(外部評価) 食事時、排泄支援、入浴支援などの日常的な生活の中で、親しく声をかけをし、要望や思いを聴き取るよう努めている。食べ物に関する要望は度々聴き取り、その希望に沿うよう努めている。話しの困難な利用者からは、表情から把握するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所時、これまでの生活やサービス利用の経過など事前に調査し、家族や本人から話を聞き情報を得ています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 1日、一人ひとりの行動や言動をよく観察し、情報の共有したり、見守りしています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 面会時や訪問時、家族や本人の意見や希望を聞き、月1度のケアカンファレンスを行い、介護者同士が意見交換をして問題点については解決に向けて話し合い、取り組み計画を作成しています。 (外部評価) 日々のケアの中で詳細なチェック表を作成し、月に1回のカンファレンスでその内容をチェックし、問題点を協議し、利用者の希望も聞きながら、3か月間のプランを作成する。通常は3か月毎に見直しを行っているが、臨機応変に対応している。家族には説明を行っているが、十分理解してもらえていない場合がある。	具体的に詳細な面まで理解してもらうために、ケアプランの作成時には家族には極力出席してもらい、希望を聴き取ると同時に、十分な説明を行い、共有できるような取り組みに期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別の介護記録を作り毎日利用者の行動を記入し、経過観察記録も個別に毎日記録して利用者の体調管理に努めています。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 神南診療所との交流があり医療連携体制を整えており、ナースとも連携しています。サービスの多機能化は特にありません。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 内子町社会福祉協議会の方が民生委員さんと一緒に定期的に訪問して頂いています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 家族に契約時、神南診療所を主治医にしてもらって いか聞き、月2回の往診と必要時の受診があることも 説明し理解していただき利用されています。また、家 族の協力において以前からのかかりつけ医に受診され ている方もおられます。 (外部評価) 医療機関が母体なので、当診療所の医師が主治医であ り、24時間体制で連携を取り、月に2回の往診があ る。胸部X線検査は入居時に受けており、血液検査は 医師の判断で実施している。歯科、眼科などの専門医 とも協力関係をとっている。インフルエンザワクチン は利用者、職員共に11月中に接種する。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 気づいたことや体調の変化が見られる時は、医療連携 のナースに報告し、指示を受け適切に早く対応するよ うにしています。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) サマリーなどで情報交換し、入院中の情報や退院時の 情報をとっています。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 契約時にグループホームにおいて看取りまで出来るこ とを説明して重度化、終末期の指針もわたしていま す。 (外部評価) 重度化、終末期ケアに関しては、ホームでの支援が可 能であることを入居時に説明をし、同意書を交わして いる。設立以来、半年が経過しているので、マニユ アルを早急に作成し、学習を行っていく計画である。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 全ての職員に初期対応の訓練は、開設したばかりなのでまだ行えていないが、2級の救命救急の講習を受けている介護者が半数以上います。これから定期的に講習を受けたいと思っています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 開設時、地域の方と一緒に避難訓練を行っています。地震訓練は、まだ行っていません。これから定期的に訓練を行っていきたいと思っています。 (外部評価) 昼間想定訓練は6月に実施した。今回は夜間想定で実施する計画である。訓練には近隣の住民にも参加してもらった。スプリンクラーが設置されており、災害時には火災報知器が作動する。隣接のグループホームと協力体制をとっている。緊急連絡網は作成しているが、連絡の訓練を実施していない。地震対策は行っていない。	運営推進会議で地域住民の協力依頼を十分行っておくことが求められる。緊急時に備え、連絡網を使用して確実に連絡ができるように、定期的に訓練しておくことが求められる。家具を固定しておくなど、地震対策に取り組んでおくことを望みたい。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 一人ひとりのプライバシーを尊重し、言葉使いに気を付けています。また、介護者が互いに気を付けてカバーし合えるようにしています。 (外部評価) 個人情報保護法に関しては、職員は学習を行い、その大切さを十分認識している。利用者、家族とはこの法律に関して誓約書を交わしている。利用者に対しては尊敬の念を持って基本的には名前で声がけをし、ゆったりと、優しく対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者を第一に尊重し、おやつ時には何を飲みたいかその都度本人の希望を聞き実行したり、利用者本人に決めて頂けるよう声かけし、働きかけています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりの特技や出来ることを見つけて声掛けをしてやって頂いたり、その利用者の1日のペースを把握して過ごして頂いています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 入浴時、利用者と一緒に着替える服を選んで用意してもらっています。爪切りや耳掃除も小まめに行っています。今後、化粧療法も検討しています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) それぞれの出来ることを知り、食事の手伝いをして頂いたり、その利用者に合った大きさに切ったり量を考えたりしています。また、季節事の食材も取り入れています。	
			(外部評価) 食前、食後の手伝いをしている利用者もいる。職員は声かけをしながら、楽しく食事ができるよう努めている。好みの食器を持ち込んでいる利用者もいる。基本的にはメニューに沿って料理をしているが、利用者の好みに合わせることもある。食事の摂りにくい利用者には寄り添って、ゆったりと支援にあたっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事の都度、摂取量を記録し、水分量も1日の摂取量を記録して合計を出しています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後、全利用者に口腔ケアへの誘導や声かけをして見守り、確認しています。また、1人で十分に歯磨きが出来ない利用者には、一緒に行い介助している。定期的に義歯のつけ置き洗浄も行っています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 一人ひとりの排泄の間隔を把握し、声かけ誘導をして失敗を少なくするよう努めています。また、尿意が鈍くなって来ている利用者は時間を決めて誘導しています。 (外部評価) 排泄チェック表には各人の排泄記録が詳細に記録され、機能に合った支援を行っている。夜間にも声かけをし、失禁のないよう、排泄支援に当たっている。またできる限りおむつを使用しないよう、排泄支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 便秘の方は、水分を多く摂って頂いたり、運動をして頂いています。1日の排便の有無、量、色など経過観察し便秘の原因を探っています。食べ物にも工夫して、強い便秘の場合は医師と相談しながら服薬して頂き、排便があるようにしています。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 毎日入浴出来る体制を取っていますが、行事等重なる場合があるので週に2～3回は最低入浴出来るようにしています。気持ちよく入浴して頂けるよう努めています。 (外部評価) 最低、週に2～3回は入浴できるよう支援にあたっている。入浴を嫌がる利用者には気分が落ち着いてから、気持ちよく、ゆったりと入浴してもらうよう努めている。車いす利用者にはシャワーチェアを使用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 夜間の不眠あった場合、日中でもお部屋で休んで頂いたり、夜寝る時間も個人に応じて決まった時間を作らずリズムに合わせて休んで頂くようにしています。また、不眠時は、一緒にお話ししたりして安心して頂いています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりの服薬支援に努めています。職員は担当の利用者の服薬内容は把握するよう努めています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの出来ることを引き出して声かけしています。生活歴から出来ることの引き出しに力を入れる事をこれからの課題にしています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩に出かけたり、買い物へ出かけたりして気分転換をはかっています。一人ひとりの希望にそって戸外へ出かけることは出来ませんが、家族さんの協力で外出される事もあります。 (外部評価) ホーム周辺が安全な場所なので、道路や庭を散歩して、ストレス解消、気分転換に役立てている。隣接のグループホームと共同企画で、年間の外出計画表を作成している。大洲市のスーパーに買い物に出かけ、コスモス畑などへ立ち寄ることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 支払い能力は買い物へ行った時に様観して把握しています。買い物から帰宅後、買った品物と金額を一緒に確認出来るように努めていきたい。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望があれば、電話をかけてあげ、本人に取り次ぎ話をして頂いています。娘さんからハガキが来たことがあり返事を出しました。家族への手紙は職員が手伝っています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) テレビの音量の調節やカーテンを引いたり照明の切り換えをしています。また、冷暖房で温度の調整を行っています。毎日掃除をしており、季節感のある花などを飾ったり、作品を飾ったりしています。 (外部評価) 木造建築の柔らかな感触が部屋全体を包み、自然の陽が差し込み、窓越しから四季折々の風景を見ることができ心が安らぐ環境である。畳の間を設け安らぐこともできる。見やすい時計やカレンダーを備え、時の見当識に役立っている。共用空間は共に清潔である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) フロアにて利用者がすごせるテーブルが設けてあり、その他に誰でも座ることの出来る椅子や場所があります。また、気の合った仲間ですごせる空間づくりをしています。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 今まで使っていたものを持ってこられている方もおられます。また、入居時に自由に使い慣れた物等持ってこれることを伝えています。 (外部評価) 入りのドアには大きい文字で氏名の書かれた名札が目線に合わせてかけて自分の部屋を認識できるようにしている。ベッドと整理ダンス、洋服ダンスはホーム備え付けの家具であるが、時計、カレンダー、馴染みの写真や物品を持ち込み、思い思いの部屋づくりがされている。	時計、カレンダーを持ち込んでいない居室がある。文字の見やすい時計とカレンダーは全居室に備え、時の見当識に役立てることを望みたい。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 自室内を安全に生活できるよう整理を一緒にしています。また、自分の家族がわかるよう入口に表札を張り付けたりしています。	